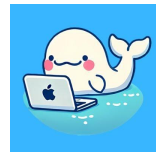




**1人AI駆動開発したアプリで  
マネタイズしないなんて  
もったいない！**


2026.03.24

# 自己紹介



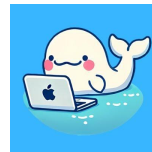
CTO / エンジニア / コミュニティ運営



ます  (ディズニー好きのエンジニア)

- AIを活用した **個人開発**・**業務効率化**
- 小規模受託開発の実践
- **ORION** などのコミュニティ運営

# 会場アンケート



皆さんの現在の状況を教えてください

## ①個人開発中

現在進行形で  
何かを作っている人

## ②収益経験あり

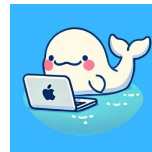
個人開発で  
1円でも稼いだことがある人

## ③専業開発者

個人開発の収益だけで  
生活している人

# 本セッションのスタンス

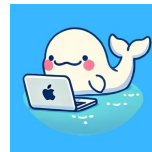
---



個人開発“だけ”で食べるのがゴールじゃなくてもいい  
マネタイズ ≡ 資産化する

- 全員が個人開発で生活する必要はない
- 専業での生活は現実的に **ハードルが高い**
- 稼ぎ・キャリア・信頼に繋げることは十分可能
- **次の価値を生む武器** として個人開発を捉える

# 個人開発の理想と現実



多くの開発者が直面する高い壁

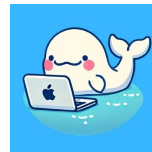
## 理想のサイクル

- 作って公開すれば広まる
- ユーザーが自然に増える
- 課金されて収益が発生する
- それだけで生活ができる

## 直面する現実

- まず存在を知られない
- 継続して利用されない
- 収益化までが非常に遠い
- 単体での生活は困難

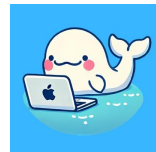
# 個人開発が生み出す5つの価値



直接収益以外にも大きなメリットが存在する



# 具体例：ORIONのLINE公式機能



今回のイベントでも活用している仕組み

## イベント体験の向上

チェックイン機能やデータ管理、  
参加者同士のつながり作りを実現

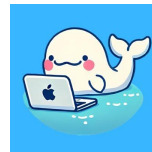
## プロフィールの可視化

交流を促進するための  
簡単なプロフィール閲覧機能を搭載

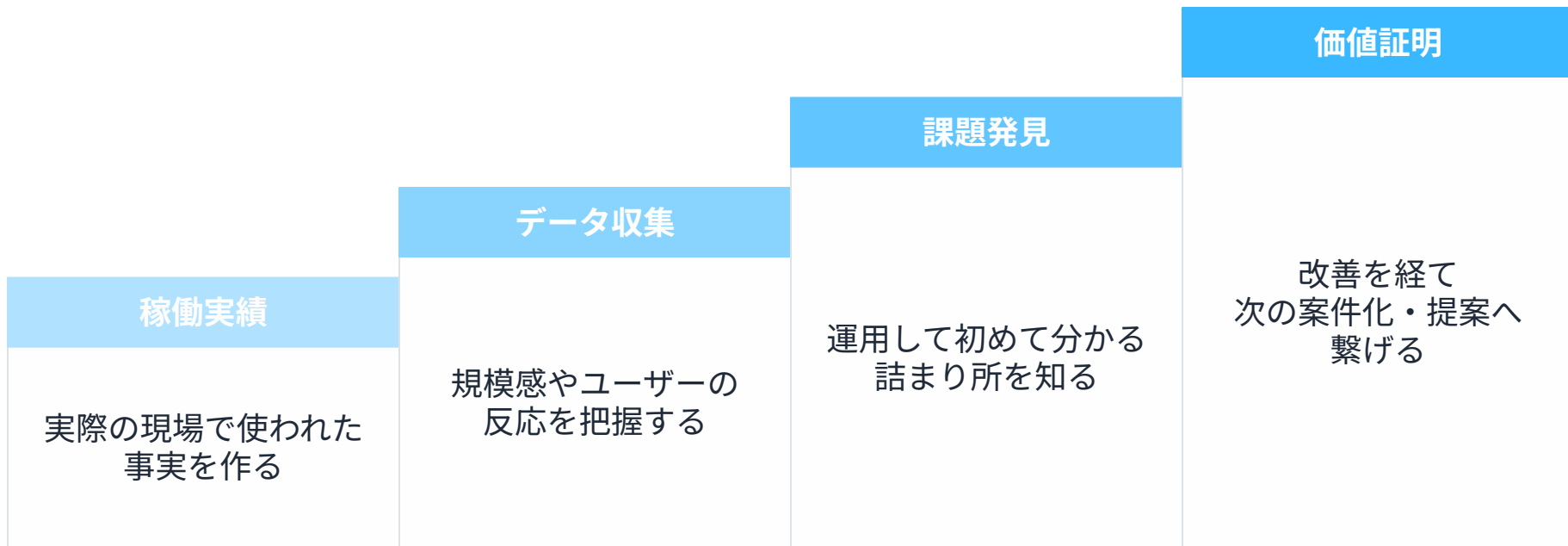
## 戦略的無料提供

開発依頼なら十数万規模の要件を、  
あえてボランティアとして提供

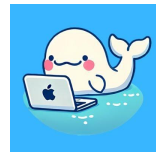
# なぜ「無料提供」でも価値があるのか



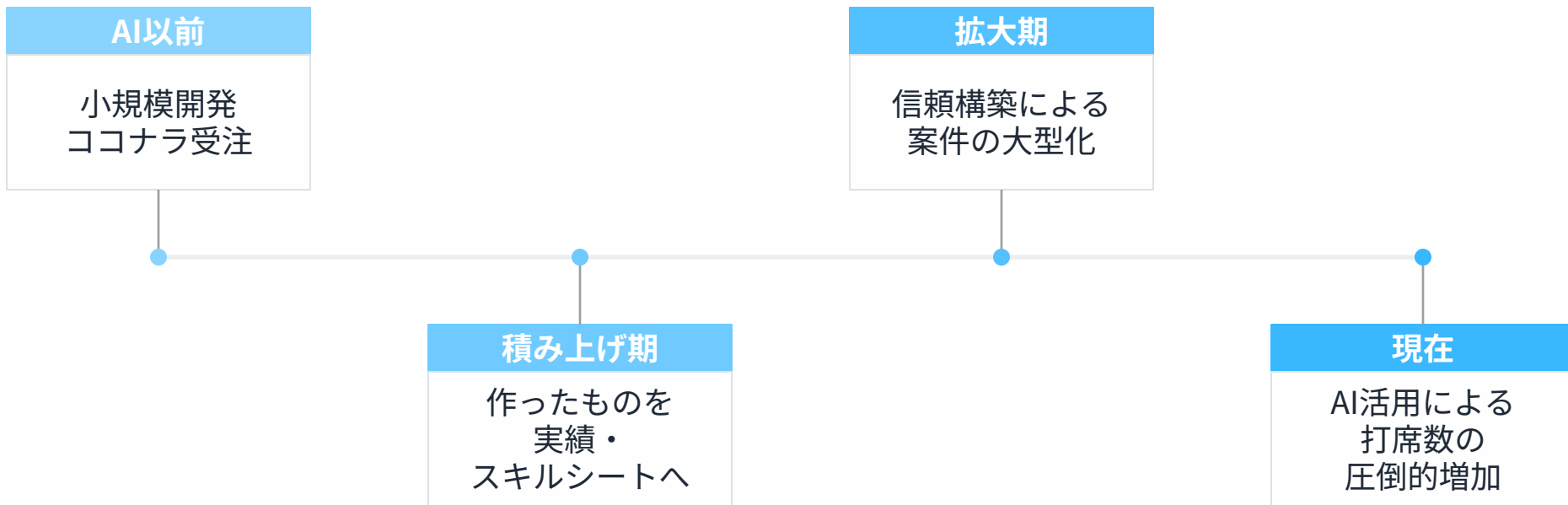
「作った」を「使われた」実績へ昇華させる



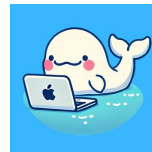
# 自身のキャリア形成プロセス



小さなアウトプットを繋げてきた道のり



# 個人開発を「仕事の土台」にする戦略



単なる趣味からビジネスの起点へ

## コミュニティ貢献

場に価値を提供しつつ実例を作る

## 信頼のストック

「あの人に頼めば確実」という評価を貯める

## 案件獲得の自動化

実例を見た人からの相談が来る状態を作る

## 将来のチーム化

自分のチームで仕事を受けるための材料にする

# 個人開発の価値構造



作品をキャリアのブースターに変える

人生の進展

キャリア・自由な働き方の実現

信頼と案件

実例に基づく信用と仕事の獲得

実績化

「使われた」という事実の蓄積

プロダクト

AI駆動による迅速なアウトプット

